

アドバンスドテクノロジー推進統括部 (ATL) ご紹介

富士通株式会社 ジャパン・グローバルゲートウェイ アドバンスドテクノロジー推進統括部



組織プロフィール



※2022年9月現在

名称 アドバンスドテクノロジー推進統括部 (略称:ATL)

統括部長 桜井 英和

統括部員数 245人

拠点数 12拠点、10地域(テレワーク率9割以上)

保有資格数 631件(主な実績 AWS 40件、Azure 64件、アジャイル 97件)

拠点と遠隔勤務地域



Kawasaki Hubを中心に全国各地に在籍

<u>遠隔勤務地域</u>

宮城県

群馬県

長野県

静岡県

奈良県

大阪府

兵庫県、京阪神

岡山県

福岡県

鹿児島県

Hubを除く在籍事務所

札幌システムラボラトリ

幕張システムラボラトリ

汐留本社

アロマスクエア

川崎工場

朝日生命松本深志ビル

Sendai Hub

Kawasaki Hub

Shizuoka Hub

Nagoya Hub

Fukuoka Hub



Oita Hub

役割・機能



商談から"One FUJITSU"で実施し、技術統制(現場の属人的判断ではなく、組織としての知見で顧客に価値ある正しい技術の選定)を行い受注を拡大する。また、提案内容によるアフターのトラブルを抑止する

機能

One Delivery 新品質保証プロセスのテクノロジー統制

注力技術領域における商談支援、プロジェクト支援

全社アジャイル人材育成

統合プロジェクト基盤Yakushinの新プラットフォームへの移行

JGG内技術戦略企画

ATLのビジョンとミッション



ビジョン

顧客企業や富士通の未来を テクノロジーでリードする ForGrowth領域の技術集団になる

ミッション

- ForGrowth の注力技術領域に対して
 お客様の要求に柔軟・迅速に提案し デリバリーにつなげる
- **2 JGGのエンジニアが全員アジャイル開発できるようにする**

ATLはより商談と企画構想フェーズにフォーカスし、 全社/JGGを技術でリードする組織へ

注力施策



- 注力技術の導入をリードし、For Growth領域のデリバリへ貢献
- プロジェクト支援を実施しながら、技術領域の成熟度・定着度に合わせて、 JGGのデリバリ能力向上に寄与する取り組みを推進

主要施策① 注力技術を活用した商談における技術支援

- Enterprise Architecture
- ・クラウド/コンテナ
- AI/データ利活用
- ・ローコード/ノーコード

・アジャイル

・性能技術

主要施策② アジャイル人材の育成

主要施策③ 新プラットフォーム定着に向けたYakushinの確実なクローズ

主要施策④ JGGの技術戦略の立上

ATL組織運営方針:皆が働きやすい世界へ!



自分の思い描いているキャリアが実践でき、楽しく仕事ができる 組織になることで、最終的にビジネスに貢献していく

テレワーク時代の コミュニケーション

①組織的なコミュニケーション機会の継続的な提供

キャリア形成の サポート

②キャリアプランに向けた技術を磨くための教育推進

Work Life Balance

③自分に合ったWork Life Balanceの実現

体制



アーキデザイングループ:35名

クラウド技術グループ:51名

LNCP技術グループ: 8名

性能技術グループ: 15名

技術企画グループ: 6名

AI技術グループ:22名

アジャイル推進グループ:70名

Yakushin保守グループ: 18名

組織変革グループ:20名

桜井 英和

統括部長



グループ紹介

グループの役割と主な活動内容 1/5



アーキデザイングループ

提案・商談推進活動で先端技術の導入をリードし顧客価値向上を実現

- One Delivery実現に向けてのテクノロジー統制(案件摘要技術の事前チェック)
- 先端テクノロジー提案組込み拡大に向けた整備と展開
- 企画構想フェーズの商談/PJ支援と商談資材の整備

クラウド技術グループ

デリバリー変革の実現に向けて、すべての機能別組織を繋ぐハブとして、富士通全体のクラウドインテグレーションビジネスを牽引

- 関連する機能別組織、主要ベンダーとの連携によるエコシステムの形成
- 技術やアーキテクチャの型化による商談からデリバリーまで一環した共通軸の整備と 実践(商談/PJ支援)

グループの役割と主な活動内容 2/5



AI技術グループ

データ利活用ビジネスの推進に向けた技術整備とプロジェクト支援

- AI/データ利活用の商談支援/技術支援
- 提案~実装・運用までのプロセスとデリバリの標準化

LNCP技術グループ

ローコード/ノーコード開発技術について、富士通のケイパビリティとして立ち上げ、ビジネス活用

- ローコード/ノーコード開発の商談支援/技術支援
- プロセス、知見の整備

グループの役割と主な活動内容 3/5



アジャイル推進グループ

アジャイルビジネス実行に向けたCapability向上

- アジャイルビジネスの提案支援・現場支援
- アジャイル人材の育成推進

性能技術グループ

新技術の性能技術を取り込み、性能技術を拡大し続けデリバリ品質を向上

- 商談~アフタまで性能問題発生防止と問題解決のメソッドの強化
- 性能リスクの抽出と性能リスク回避の技術支援

グループの役割と主な活動内容 4/5



Yakushin保守グループ

FY22末にYakushinをクローズ

- ■マネジメント標準ツール(Yakushin)の保守
- ■新全社標準ツールの運用開始に伴いYakushinからの移行を推進・支援

技術企画グループ

JGGの組織技術力向上

- JGG戦略に基づいたテクノロジー戦略及びリソース戦略の企画立案
- 各統括部との調整、実行の状況可視化

グループの役割と主な活動内容 5/5



組織変革グループ

組織全体として必要な変革をリード

- 予算管理、会議体運営、統括部共通窓口
- 組織可視化



メッセージ

メッセージ



ここでしか得られない経験は?

- 富士通のデリバリー変革の最前線において、最新の技術を現場に届け、定着させることができます。
- 特定技術のスペシャリストとして社内の様々な案件に携わることになり、技術の先頭を 走ります!
- 一つの業種、業務に専念するのではなく、特定技術を軸に複数の案件に参加する特徴もあります。
- 現場のエンジニアから技術のスペシャリストとして、ビジネスに貢献することで歓迎されることが得られる喜びです。

求める人材は?

- クラウド/コンテナ、LNCP、AI/データ利活用、性能、Agile など最新の技術スキルを保有者は大歓迎!
- 新しい技術を学び、挑戦し現場に届けたい思いのある人!
- 自らスキルアップをしていきたい方も大歓迎!



Thank you

